

平成 19 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 ハイビック株式会社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長
 田 村 光 一
 (J A S D A Q ・ コード 7845)
 問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長
 手 塚 信 行
 電 話 番 号 0 2 8 5 - 2 0 - 0 0 1 5
 (URL <http://www.hivic.co.jp>)

特別損失の発生及び平成 20 年 3 月期中間・通期業績予想（連結・個別）の修正
 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

この度、特別損失が発生する見込みとなりましたのでお知らせするとともに、平成 19 年 5 月 18 日付当社「平成 19 年 3 月期決算短信」にて発表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の中間及び通期業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

連結におきましては、昨年子会社化したハイビックホームコンポーネント(株)（旧岡谷ホームコンポーネント(株)）に関し、収益体質への改善策を講じてまいりましたが、新設住宅着工戸数の大幅な減少等、市場環境の大きな変化により、利益化が当初の予想より遅れることが見込まれます。それに伴いのれんの減損損失を計上する見込みであり、その他の損失と合わせ、1,037 百万円の特別損失を計上する見込みであります。

また、個別におきまして、連結子会社に対する貸倒引当金繰り入れ、損失引当金繰り入れ等による特別損失 1,339 百万円を計上する見込みであります。

これらは財務の健全化を早期に図る目的から行うものであり、引き続きグループ全体での収益向上に努めてまいります。

2. 平成 20 年 3 月期中間業績予想の修正

(1) 連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	18,659	1,031	1,065	605
今 回 予 想 (B)	15,480	564	664	606
増 減 額 (B - A)	3,178	467	400	1,211
増 減 率	17.0%	45.3%	37.6%	
ご 参 考 : 前 期 実 績 (平成 18 年 9 月中間期)	13,403	926	984	582

(2) 個別業績予想(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	13,173	1,110	1,109	872
今回予想(B)	11,962	1,004	1,030	338
増減額(B-A)	1,211	105	78	1,210
増減率	9.2%	9.5%	7.1%	
ご参考:前期実績 (平成18年9月中間期)	12,363	993	990	783

3. 平成20年3月期通期業績予想の修正

(1) 連結業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	38,500	2,132	2,208	1,286
今回予想(B)	31,947	977	1,138	376
増減額(B-A)	6,552	1,155	1,069	1,663
増減率	17.0%	54.2%	48.5%	
ご参考:前期実績 (平成19年3月期)	29,612	1,695	1,835	1,099

(2) 個別業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	26,682	1,685	1,689	1,217
今回予想(B)	23,261	1,472	1,488	99
増減額(B-A)	3,420	212	200	1,317
増減率	12.8%	12.6%	11.9%	
ご参考:前期実績 (平成19年3月期)	24,342	1,503	1,508	1,086

4. 業績予想の修正理由

住宅業界におきましては、6月に施行された改正建築基準法の影響により、7月以降の新設住宅着工戸数が前年と比べ大幅な減少で推移しており、非常に厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当中間期の連結売上高につきましては、直需木材市場の新規出店等、積極的な事業展開を図りましたが、需要減少が大きく影響し、前回予想を下回る見込みであります。また、営業利益、経常利益につきましては、上記事項に加え、昨年来続いた資材価格高騰の影響等を主な要因とし、中間純利益につきましては、特別損失の計上により前回予想を下回る見込みであります。

個別におきましても連結同様、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益が前回予想を下回る見込みであります。

通期につきましては、改正建築基準法の影響等、依然として不透明感が強く、非常に厳しい市場環境が続くと予想されることから、連結、個別ともに修正いたします。

5. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成19年5月18日発表)		8円00銭	8円00銭
今回修正予想		4円00銭	4円00銭
前期(平成19年3月期)実績		10円00銭	10円00銭

(注)平成19年3月期期末配当の内訳 普通配当 7円00銭 記念配当 3円00銭

(2) 修正の理由

当社の配当方針は、業績に基づいた成果配分を行い、株主の皆様へ報いることを基本に、配当性向20%を基本としております。

平成20年3月期の連結当期純利益は、今回の業績予想修正のとおり、3億76百万円の損失となることを見込まれます。この損失には財務の健全化のための特別損失が影響していることを勘案し、予想連結経常利益額に法定実効税率を基本とした税金費用を差し引き、その額に対し配当性向を考慮させていただき、平成20年3月期の期末配当につきましては、1株当たり配当予想を当初予定の8円から4円に修正させていただきます。

株主の皆様及び関係各位におかれましては、何卒、ご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上